

四国運輸局におけるバリアフリーの取組

四国運輸局

交通政策部 共生社会推進課

令和8年8月7日

①バリアフリー教室・研修の開催

四国運輸局では、交通バリアフリーについての理解を深め、誰もが高齢者・障がい者等に対し、自然に快くサポートできる社会を実現するため、平成13年度から「バリアフリー教室・研修」を開催しています。

サポート方法を学ぶだけでなく、高齢者・障がい者等の困難を自らの問題として認識するきっかけとします。



【令和7年度四国運輸局バリアフリー教室開催状況】

実施日	開催場所	参加者	対象
令和7年5月21日	四国運輸局	15名	四国運輸局・四国地方整備局職員
令和7年7月4日	藍住町立藍住西小学校	86名	小学生(4年生)
令和7年9月12日	西条市立楠河小学校	25名	小学生(4・5年生)
令和7年9月26日	高松市立亀阜小学校	79名	小学生(5年生)
令和7年12月12日	高知空港ターミナルビル	21名	高知空港内事業者職員
令和8年1月27日	ことでんバス株式会社	11名	乗務員

☆バリアフリー教室を体験された児童・職員の皆さんからいただいた感想（一部抜粋）☆

- 実際に車いすに乗ってみると、車いす利用者の大変さが分かりました。介助の仕方もととてもわかりやすく説明してくれて知ることができました。
- 車いすが必要とする人には何が不自由でどんな手伝いが必要なのか人それぞれだと思うので、一人ひとりに適切に対応できる知識が必要だと感じた。
- 自然災害が起きたときに自分に何ができるのか、本当に誰かのために動けるのか考えさせられるよい機会となりました。



②交通事業者への支援（各種補助制度の活用）

バリアフリー化を促進するため、国の各種補助制度により交通事業者を支援しています。

☆令和7年度に補助制度を活用して整備・導入された車両等

●エレベーター付きバス（乗合バス）	1両
●ユニバーサルデザインタクシー	23両
●福祉タクシー（リフト又はスロープ付き）	2両

③自治体への基本構想・移動等円滑化促進方針(マスタープラン)作成支援

市町村は、旅客施設の周辺地区など、高齢者、障がい者等が利用する施設が集まった地区（重点整備地区）について、特定事業を定め、基本構想の作成ができるとされていましたが、今般の法改正により、基本構想を作成するよう努めるものとされました。

また、具体事業の調整が困難な場合には、移動等円滑化促進地区を指定し、バリアフリーの方針を定めるマスタープラン制度が創設され、作成経費の支援を行うこととしています。

四国運輸局は、これまで6市（丸亀市、高松市、松山市、高知市、今治市、徳島市）の基本構想策定協議会に参画し、情報提供や助言を行ってきました。

令和7年度は、四国地方整備局とともに、基本構想・マスタープランを未策定の自治体に対して、それぞれの計画の作成についてプロモートを実施しました。

④バリアフリー四国運輸局長表彰



徳島県肢体不自由児者父母の会連合会

会長 圓井 美貴子

各支部

【徳島支部】にんじんの会 【三好支部】あゆみ会
【小松島支部】さくらんぼ会 【阿南支部】太陽の会
【美波支部】たんぽぽの会 【吉野川支部】ふたば会
【美馬・つるぎ支部】じゃんぷの会



★取組の概要

- 2016年より、共生社会の実現を目指し、障がいの有無に関わらず、全ての人が一緒に学んだり楽しんだりできる機会や最新の福祉機器・福祉車両や障がい児者の生活に密着した各種情報の提供の場として、イベント（「バリフリBOX」）を開催しており、徳島県内の関係団体、民間企業や自治体などと協力して地域と一体となった取り組みを行っている。
- 当事者や専門家といっしょに地域に出向き出前授業（「出前バリフリBOX」）を行っている。「出前バリフリBOX」を体験した小学生等からは、「学校だけでは得られない学びと人権意識を高めることができ、自分の出来ることが何かを、みんなで考える貴重な体験となりました」などと好評を受けている。



⑤バリアフリーに関する意見交換会

実施概要

日時: 令和7年9月12日(金) 13:40~15:10

場所: 東予港フェリーターミナル・おれんじえひめ船内

主催: 四国運輸局

参加者: 西条市立楠河小学校4・5年生

協力: 四国開発フェリー株式会社／社会福祉法人西条市社会福祉協議会／CIL星空

協賛: 四国旅客船協会

【バリアフリー教室】

高齢者、障がい者等が安心して日常生活や社会生活が出来るようにするためには、施設整備（ハード面）だけではなく、高齢者、障がい者等の困難を自らの問題として認識し、心のバリアを取り除き、その社会参加に積極的に協力する「心のバリアフリー」が重要な意識の醸成等を目的として、小学生を対象に本教室を開催しました。

【意見交換】

バリアフリー教室に協力いただいた事業者や団体の方と意見交換を行いました。

四国開発フェリー株式会社の従業員の方等よりいただいた高齢者、障がい者等への接遇時の疑問、悩み事や社会福祉法人西条市社会福祉協議会やCIL星空の方から本教室等で気付いた点などについて発表いただきました。



四国開発フェリー株式会社ウェブサイト 参照

意見交換

・四国開発フェリー株式会社より、従業員の方等よりいただいた高齢者、障がい者等への接遇時の疑問、悩み事や社内研修等について共有いただきました。

社内研修内容

- 車いすの基本操作についての座学及び実技を実施
- 介助者側の補助方法についての注意事項
- 船内での危険箇所のチェック及び改善
- 障がい当事者の方からの座学、体験談及び事例
- 障がい当事者の方との船内視察
- バリアフリー法及び障害者差別解消法についての座学
- 車いすを利用した船内移動体験

・社会福祉法人西条市社会福祉協議会やCIL星空の方より以下のような意見等をいただきました。

- フェリーの乗船時に実際に経験した困りごと
- 車いすユーザー等の方が一人で利用される際の事業者側のサポート等の対応方法
- 研修等で役立ちそうな資料等の取集方法 など



⑥「障害の社会モデル」の理解促進に関するセミナー（四国地方整備局・四国運輸局共催）

日時 令和7年12月10日（水）14:00～16:00

場所 高松サポート合同庁舎南館3F 海技試験場（オンライン・対面形式開催）
内容

- ① バリアフリー法における移動等円滑化促進方針・基本構想の策定促進について
国土交通省 総合政策局 共生社会政策課
- ② 国土交通省における建築物バリアフリー化の取組について
四国地方整備局 建政部 都市・住宅整備課
- ③ 誰もが安心して笑顔で暮らせるまちづくり
NPO法人 福祉住環境ネットワークこうち 代表 笹岡 和泉 氏

出席者 四国5自治体、3団体（公共交通事業者、業界団体等）、
四国地方整備局、四国運輸局職員

「障害の社会モデル」の 理解促進に関するセミナー

共生社会推進課では、今年度も「障害の社会モデル」の理解促進に向けたセミナーを開催いたします。今年度は、当局的のリア
フープローダーでいっしょに世界地図よりご講演いただきます。世帯数は2006年に設立されたNPO法人福祉住環境ネット
ワークこうちの理事長を務められており、タウンモビリティやバリアフリー観光施設といった活動を通して地域で笑顔を
た、世帯数の増加も実現して笑顔で暮らせるまちづくりに取り組んでおられます。また、どのような活動にも参加した
「障害の社会モデル」について知っておくべきこと、関心のあること、もっと詳しく知りたいことなど、どんなことにも参加した
いただきたい内容となっています。業務に多忙のところ大変恐縮ですが、何卒参加のご検討がほどよろしくお願いたします。

日時 令和7年
12月10日（水）14:50～16:00

開催
形式 オンライン開催（Microsoft Teams を利用）

申込
方法 別添申込書に記載の上、下記お問い合わせ先までご送付
下さい。（メールでも可）。
後日会議IDと資料をお送りいたします。 12月1日（月）

講演 内容
14:50～16:00（第2部※）
「障害の社会モデル」の理解促進に関するセミナー
「誰もが安心して笑顔で暮らせるまちづくり」
NPO法人福祉住環境ネットワークこうち代表 笹岡 和泉氏
※要領14:00～14:45迄を全参加者による自治体職員向けの前座です。趣意も可です。参加にその旨をお知らせください。

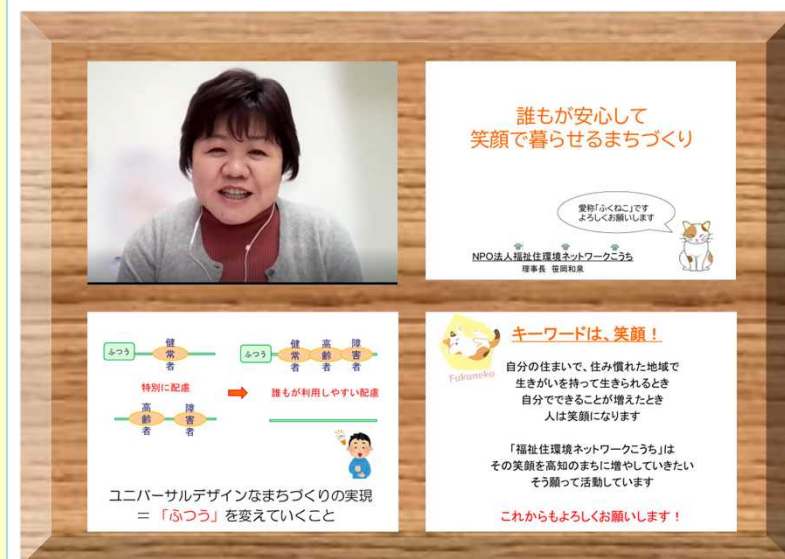
お問い合わせ先 交通政策部 共生社会推進課（担当：森・近藤）
TEL: 087-802-6727
E-mail: skt-syoushouka3012@ki.mlit.go.jp

上記セミナーでは、移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想の作成
支援に関する説明のほか、NPO法人 福祉住環境ネットワークこうちの代表
を務められる笹岡 和泉氏のご協力のもと「障害の社会モデル」の理解促進に
関するセミナーを開催いたしました。

セミナーでは、「誰もが安心して笑顔で暮らせるまちづくり」というテーマ
で、福祉住環境ネットワークこうちが取り組んでいる「福祉住宅環境整備」や
「買い物弱者・移動弱者のサポート」等を通じて、ユニバーサルデザインなま
ちづくりの実現についてご説明いただきました。

ご参加いただいた方からは、「当事者の方々が主体となってタウンモビリティ
に関わられていると知り、とても興味深かった。行政との関わり方も参考にな
った。」との声をいただきました。

今後も、障がい当事者、支援団体等のご協力のもと、「心のバリアフリー」
「障害の社会モデル」の普及啓発を行ってまいります。



誰もが安心して
笑顔で暮らせるまちづくり

愛知「ふくに」です
よろしくお願いします

NPO法人福祉住環境ネットワークこうち
理事長 笹岡和泉

キーワードは、笑顔！

自分の住まいで、住み慣れた地域で
生きがいを持って生きられるとき
自分であることが嬉しかったとき
人は笑顔になります

「福祉住環境ネットワークこうち」は
その笑顔を高知のまちに増やしていきたい
そう願って活動しています

これからよろしくお願いします！

ユニバーサルデザインなまちづくりの実現
＝「ふつう」を変えていくこと